

至誠館大学

科目名	心理学			コード		
英語表記	psychology					
担当教員名	熊谷 信順			年度	平成28年度	
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数	2
授業形態	講義	授業形式			履修形態	選択
授業概要						
心理学は、人の行動の仕組みを「こころ」という仮説的な仕組みを仮定して精神的働きを理解しようとする。このような仕組みが身体的・生理的仕組みとともに機能して私たちはこの環境に生きていくことができる。そのような観点から、人が環境をとらえ、意味づけ、判断し、情報を蓄える仕組みや、社会的影響の現象、社会的適応の現象などを理解する。						
到達目標						
心理学的基礎概念を理解する。それらを通して、自分たちの具体的な行動や社会的影響関係を分析し理解できるようにする。						
授業計画						
第1回	心理学における「仮説的構成概念」という方法論について					
第2回	「知覚」と「認知」の違い、意義。視覚の現象。主観的輪郭線。図と地。まとまりの要因					
第3回	大きさの知覚と距離判断。大きさの恒常性。奥行き印象の判断					
第4回	「正しい見え方」はあるのか。錯覚はなにを意味するか					
第5回	記憶の仕組み					
第6回	記憶の諸現象					
第7回	他者と共に生きる上での影響関係。権威への服従・集団への同調行動					
第8回	情報化時代の情報操作					
第9回	影響力の行使。説得と要請					
第10回	他者をどのように認知するか。対人認知の特徴					
第11回	魅力が形成される条件。ことばによらないコミュニケーション					
第12回	他者との関係の空間的表現					
第13回	自己の姿の社会的表出。自己呈示の諸相					
第14回	自己開示の働き					
第15回	性格についての考え方、捉え方					
評価方法と基準			評価項目と割合(%)			
筆記試験	出席	授業態度	レポート	期末試験	その他	
				100		
授業外学習			テキスト、教材			
最低限、その日のうちにノートを見返して授業内容を思い起こし、たどってください。			スライドを呈示する			
参考書			受講生へのメッセージ			
			自分の手で自分用のノートを作成するように心がけてください。日常の自分の経験に関連づけて学んでください。			
キーワード						
仮説的構成概念としての「こころ」、知覚と認知、短期記憶と作業記憶、同調行動、魅力、自己呈示、自己開示、性格						